令和6年度第7回 伊豆市教育委員会会議録

期 日 令和6年10月29日（火） 午後6時30分から午後8時00分まで
会 場 伊豆市役所本庁2階 委員会室
出席者 佐藤雅彦委員、勝呂留奈委員、梅原一仁委員、猪股園恵委員
鈴木洋一教育長
委員及び傍聴人以外の出席者
教育委員会教育部
部長 小塚 剛、学校教育統括監 室野行宣、学校教育課長 塩谷俊一、
社会教育課長 鈴木利明、学校教育課主幹 小澤真紀、
学校教育課主査 駒坂たえ子

1 開 会 （鈴木教育長）

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

教育長より、以下の項目について資料に基づき報告及び説明がされた。

（1）前回教育委員会以降の主な行事等

- 9月27日 静東教育事務所指導訪問（修善寺南小）、まち・ひと・しごと・創生本部会議
 - 28日 伊豆中学校見学会
 - 30日 第2回就学支援委員会
 - 10月1日 静東教育事務所人事管理訪問（修善寺中）
 - 2日 市内園長・センター長・校長会
 - 10日 静東管内教育長会、田方地区教育長会（函南）
 - 12日 社会福祉大会
 - 13日 元気スポーツフェスタ 2024
 - 20日 静岡県ジュニア太鼓フェスティバル（天城会館）
 - 22日 静東教育事務所指導訪問（中伊豆中）
 - 23日 静東教育事務所指導訪問（土肥小中）、部活動在り方検討委員会
 - 24日 3中学校交流事業（修善寺中）
 - 28日 静東教育事務所指導訪問（天城中）
 - 29日 10月定例教育委員会
- ※10/22～市内小中学校において伊豆中学校の概要等の説明（対象保護者）

(2) 今後の予定

- 11月 1日 田方地区校長会学校経営研、臨時議会
- 4日 全国中学生野球大会（伊豆志太スタジアム）
- 5日 静東教育事務所指導訪問（修善寺東小）
- 6日 市内校長会
- 8日 天城中学学習発表会
- 9日 ～10日 市内作品展（土肥小中、天城小、中伊豆小、生きいきプラザ）
- 13日 ～14日 田方地区教育長会視察（名古屋市立山吹小、名古屋柳城女子大学 他）
- 14日 市内小学校6年生交流会（狩野ドーム）
- 17日 伊豆市20周年記念グリーンコンサート（アクシス）
- 18日 田方地区教育長・校長代表者会
- 20日 静東教育事務所管内教育長会、田方地区教育長会
- 23日 青少年健全育成大会
- 25日 伊豆中学校開校準備委員会
- 26日 11月定例教育委員会
- 29日 12月議会（初日）、静岡県市町対抗駅伝（前夜祭）
- 30日 しずおか市町対抗駅伝大会（静岡市）

次 回 教育委員会予定 11月26日（火）18:30

(3) 市内小中学校の様子について

【生徒指導に関すること】

問題行動・いじめ

- ・ こどもは済んだことだと思っけていても、保護者が許せないと言っている案件がある。
- ・ 学習用端末で校内の他の子のアカウントに無断でログインした。
- ・ 生徒が父親と口論になり、翌朝家を出たあとに一時的に行方不明になったがすぐ見つかった。
- ・ 同級生宅の植木鉢をふざけて3階から落とし破損させた。非常に危険な行為であり、下の人がいたら大事になっていた。

不登校

- ・ 今まで不登校だった子が、3連休明けも登校できるようになった。
- ・ 遅刻は多いが、欠席が減っている児童がいる。
- ・ 不登校でも何人かの生徒がいごこちや、はればれ教室へ継続して通っている。
- ・ 静岡県は、不登校や病気等で長期欠席している児童生徒が、ICTを活用したオンラインでの新たな学びの場として、「しずおかバーチャルスクール」を令和7年度から本格運用を開始

する。

その他

- ・ 教員が体調不良等で休職する事案などでは、人手不足もあるが代替りの教員に勤めてもらうことも困難となっている。
- ・ 児童が消火器にぶつかり、落ちてきた消火器が左足に激突して左足第三指を骨折した。
- ・ 友達への暴言が目立つ生徒がいる。以前にも問題行動があったため医療支援へと繋げている。

教育委員：最近では先生も育児休暇を気軽に取得できるようになった。家庭を大事にしてほしい。

教育委員：育児休暇は良い制度だが、同僚の教員に負担がかかるのではないか。

統括監：代替りの先生が見つければ負担が軽減されるが、見つからない場合は教員が不足したまま進めざるを得ない。

教育委員：代替りの先生がいないと育児休暇は取得できないのか。

統括監：代替りの先生がいなくても希望があれば育児休暇の取得は可能だ。ただし、その場合は一人少ない状態となる。

教育長：長期間休むと復帰が難しくなるケースもある。夏休みなどを利用して計画的に取得できると良い。また、以前はフルタイムで代替りの教員を見つける必要があったが、今では条件が緩和され、短期勤務の教員を採用することも可能になった。ただし、どの業界も人手不足のため、働き手を確保するのは依然として困難だ。

教育委員：仮想空間のアバターを使った学習は魅力的だが、のめり込みすぎる危険性もある。

教育長：現在は試行段階で約 50 アカウントの登録がある。来年度の運用も県で検討中とのことだ。不登校の子どもたちが社会と繋がる一歩になればと思う。不登校への対応も時代とともに変化しており、通信制やフリースクールなど、多様な学びの選択肢が増えている。

統括監：「しずおかバーチャルスクール」という不登校や病気等で長期欠席している児童生徒が、ICT を活用したオンラインでの仮想空間への参加には、学校の許可が必要だ。全ての希望者を受け入れるのではなく、外部との接触がほとんどない引きこもりの子どもが対象となる。トラブル防止のため、仮想スクール内には管理者が配置されている。

教育部長：NPO でも人と繋がる仮想空間を提供するグループがあり、企業の支援を受けながら事業を進めていると聞いている。

教育委員：時代が進むにつれ、学びの選択肢も増えてきている。

教育長：子どもたちを取り巻く社会は厳しい環境だが、社会を生き抜く力を育ててほしいと思う。

4 議事

議案第30号 令和6年度外国語指導助手業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について

- ・学校教育課長より、市内小中義務教育学校に外国語指導助手を派遣し、英語授業の補助や子供たちとの英語によるコミュニケーションを図っていること、業務の専門性が高く、価格の安さのみで選定すると成果が期待できないことから、業務内容を提案方式で決定するプロポーザル方式で事業者を選定することを説明した。

この方式では選定委員会の設置が必要であり、委員会名を「伊豆市外国語指導助手業務委託プロポーザル選定委員会」とし、委員長および議長に教育長を充てること、構成員は教育委員や教育現場関係者など13名以内とすること、会議は非公開とすることを説明した。

また、今年度中に審査を実施し、受託期間を令和7年4月1日から令和10年3月31日までとする計画であること、今回は選定委員会の設置について審議を求めることを説明した。

特に異議が無く、承認された。

議案第31号 令和6年度準要保護児童生徒の就学援助資格の認定について

- ・学校教育課長より、国民年金の免除者となった1名を新たに準要保護児童生徒として認定する。

特に異議が無く、承認された。

議案第32号 令和6年度伊豆市青少年健全育成大会に係る表彰の審査関係について

- ・社会教育課長より、11月23日に開催する青少年健全育成大会において表彰が行われる被表彰者について説明した。本大会では、青少年の主張、スポーツ活動、文化活動、青少年指導・支援活動、善行表彰、伊豆っ子宣言賞の各カテゴリーで表彰を行う。

統括監：伊豆市の子も所属している函南の女子ソフトボールチームが表彰される。今年も大会で良い成績を収めることができた。

教育委員：サーフィンで世界で活躍している子もいて嬉しい。

上記意見交換の後、特に異議がなく、承認された。

議案第33号 令和6年伊豆市議会12月定例会に提出する議案について

- ・学校教育課長より、伊豆市議会12月定例会に上程する議案について説明を行った。議会に上程する案件は、教師用指導教科書の購入、給食の賄い材料費の増額、令和7年度からの給食調理業務委託に関する債務負担行為の設定である。指導教科書については、指導書とデジタル教科書のセットを全教科対応で各学校に1セットずつ購入する予算を計上していること、また、食材価格の高騰を受けて賄い材料費を補うための補正予算を計上することを説明した。さらに、給食調理業務委託を令和7年4月からの3年間契約とするため、支払義務を確定する債務負担行為の設定を行い、これを12月議会に補正予算として上程することを報告した。

教育部長：7～9年度の3年間の給食の調理委託契約を行うために、予算の確約を12月補正予算で取ることによって、新年度が始まる前に契約をすることができることから、4月1日から業務を始めることができる。

教育委員：伊豆中学校には給食センターはあるのか。

教育部長：伊豆中学校には給食センターは無い。修善寺中学校は給食棟があったが、そこがなくなり、中伊豆給食センターと天城給食センターから配送する。天城小学校と土肥小中一貫校、修善寺東小学校、修善寺南小学校は天城給食センターから配送して、中伊豆小学校、修善寺小学校と熊坂小学校、伊豆中学校は中伊豆給食センターから配送する。賄い材料費とは給食の材料費だ。食材の値段がとにかく上がっていて、とても予算だけでは間に合わなくなった。

教育委員：以前給食費を値上げする話が出たことがあった。

教育委員：各所で無償化の話が出ているようだ。

教育委員：中伊豆センターから給食を運ぶのももちろんコストがかかっている、新しい中学校に給食棟を建てる方が費用がかかるのか。

教育部長：中学校の近くに給食センターがあればよいが、財政的にも厳しいため今ある給食センターで賄うことになる。

上記意見交換の後、特に異議がなく、承認された。

5 報告・連絡事項

社会教育課

【中伊豆室内温水プール（ふれっぷ）の指定管理者指定について】

社会教育課長より、指定管理者の選定と債務負担行為の設定について報告を行った。

まず、市に代わりプールを運営する指定管理者に対し、令和7年度から令和11年度までの5年間で毎年所定の事業費を支払い、総額を確定する債務負担行為を設定すること、及びこの件を議

会 12 月定例会の議案として上程するにあたり、教育委員会で審議する必要があることを説明した。

次に、指定管理者の指定については、10 月 30 日に審査会を開催し、その結果を踏まえて上程案を作成することを報告した。

また、新たな取り組みとして、令和 7 年 4 月以降、小学校の授業への施設貸し出しを行う予定であることも併せて説明した。

教育委員：学校教育課程でプールの授業は必修なのか。

教 育 長：小学生は必修で、中学生は違う。

教育委員：土肥小中一貫校の子どもたちも、現在の土肥集学校でプールの授業を行っているが、施設が老朽化している。

社会教育課

【10 月行事予定について】

< 社会教育課長 >

- ・ 社会教育課長より、11 月の行事予定について説明する。

学校教育課

令和 6 年度第 2 回伊豆就学支援委員会判定について

< 統括監 >

判定保留が非常に多いが、判定するに至る十分な資料がまだ揃っていないことから、次回の就学支援委員会までに資料をそろえて判定を行う。今回の就学支援委員会の結果はあくまで就学支援委員会の結果であるため、保護者や本人と話をし最終的に進路をどうするか判定する。

6 その他
特になし

7 次回教育委員会 11 月 26 日（火）18 時半～
次々回教育委員会 12 月 18 日（水）18 時半～

8 閉会